

RACDAの参加する全国大会とネットワーク活動

RACDAは設立以来、地元でのLRT運動だけでなく、広く公共交通全般のレベルアップを日本全国で進めるネットワーク活動が必要と考え、1997年の岡山路面電車サミットを契機として、全国の活動支援と国会などへのロビー活動を並行して実施してきた。

路面電車サミットは1993年、路面電車のある町の路面電車愛好団体と事業者（全国路面軌道連絡協議会）が、路面電車存続を目指して開始された。第一回の札幌、第二回の広島大会では、約70人が参加した。RACDAは第二回広島大会の直前に設立して参加した。団体としては10団体目だったが、当初から路面電車延伸を目指すまちづくり団体としては初参加であった。広島大会ではようやくLRTという言葉が関係者の間で共有され、まちづくりの観点から推進すべきだと議論した。さらに6月10日を「路面電車の日」とすることも決定された。

広島サミットで第三回を岡山で開催することが決まり、RACDAが「全国路面電車愛好支援団体協議会」（岡山で名称変更・当初は全国路面電車愛好単体連絡協議会）を代表して活動することになった。そこでまず路面電車の日のマークを全国公募、協議会を代表して建設省・運輸省に対してロビー活動を開始し、岡山大会では市民団体の主催でありながら、前例がない両省本省後援をしていただくことになった。

岡山大会では路面電車環状化の実現という明確な目標があり、岡山商工会議所のUPCOの全面バックアップのもと、岡山電気軌道、佐野事務所の三者が事務局を分担した。参加者は全国から350人を集め、予算規模も1000万円を超えた。LRTはまちづくりのツールという観点から、路面電車事業者や愛好団体だけでなく、広くまちづくり系市民団体、全国の自治体関係者、大学研究機関関係者、ステークホルダーとしてのゼネコン、コンサル、車両メーカーにまで案内を行った。このサミットの大成功を契機に、建設省では市民の盛り上がりにも勇気を得て、その年「路面電車走行空間改築事業」を創設、車線減少を伴う路面電車延伸に道路財源を充てる方向転換を行った。

サミット後、高岡万葉線存続運動関与を嚆矢とした各地の地方鉄道存続運動との連携から、RACDA高岡、福井ROBA、RACDA大阪堺などが結成され、各地が連携する形で展開してきた。



LRTにはバス活性化が必要との観点からは、2002年の岡山バスマップサミット以来、毎年各地でサミットを開催。また路面電車のない都市でのLRT推進を目指して「全国路面電車ネットワーク」が結成され、RACDA会長は運営委員長を務める。この流れから2006年に「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」を宇都宮で開催、2010年には岡山大会も開かれた。こうした運動継続の結果、大小玉石混交の感はあるが全国の交通系市民運動体の数は、一部環境系やバリアフリー系、まちづくり系市民団体と関係しながら100団体を超えるところまできた。こうして「数の力」とはいえないまでも、ネットワーク上あるいはバーチャル上の「交通RACDA運動」が厳然と存在するようになった。

2001年、国会や国土交通省へのロビー活動の延長として国会LRT研究会を設立していただき、さらに2004年には全国路面電車ネットワークがお世話する「LRT推進議員連盟」が超党派で結成された。現在は「新交通システム推進議員連盟」と改称、LRTだけでなく公共交通全般の拡充や補助制度の提案を行い、毎回各地のLRT推進の市長などを講師にお招きし、国土交通省など関係省庁幹部幹部にも同席いただいている。議連は超党派で衆参両院で現在113人、会長は自民党の逢沢一郎氏、事務局局長は当初民主党の三日月大造氏、現在は藤本祐司氏が務めている。これらの成果として、2006年「地域公共交通活性化再生法」の制定、さらに2013年「交通政策基本法」の制定と進んでいる。

2015年11月には、第12回全国路面電車サミット2015鹿児島大会が開催された。今回は行政側のLRT都市サミットと同時期開催という初めての試みで、鹿児島市交通局の新車庫や芝生軌道という目玉もあり、全国から25団体100名が参集した。特に第一日の懇親会には90%が参加するという熱気で盛り上がり、二日目の全体会議では25団体が各2分で発表。意見交換では各地での市議会へのロビー活動の必要性等が議論された。国会議連からは逢沢会長、国交省からは都市局街路交通施設課長の神田昌幸氏にご参加いただいた。



LRT・バスなどサミット年表							
年度	路面電車サミット	バスマップサミット	人と環境全国大会	LRT都市サミット	廃止	存続新設	RACDA作成法律・制度
1993	①札幌						
1994							
1995	②広島						
1996							
1997	③岡山					万葉線	路面電車走行空間改築事業
1998							
1999	④豊橋						
2000							
2001	⑤熊本						交通部門規制緩和
2002							
2003	⑥函館	①岡山			可部線	えちぜん	
2004	⑦高知	②福井					
2005		③松江			岐阜市内	わかやま	
2006	⑧長崎	④仙台	①宇都宮			富山LRT	活性化再生法
2007		⑤広島	②京都				
2008	⑨福井	⑥新潟	③横浜				交通基本法検討開始
2009		⑦沖縄	④東京	①広島			
2010	⑩富山	⑧東京	⑤岡山				
2011		⑨弘前	※(水戸)	②富山			
2012	⑪堺	⑩札幌	⑥新潟	③熊本			交通基本法審議
2013		⑪高松	④豊橋				交通政策基本法成立
2014	※(高岡)	⑫関西	⑦宇都宮			四日市	
2015	⑫鹿児島			⑤鹿児島		札幌環状	
2016		⑬松山	⑧福井			福井乗入	

※拡大中部地区 ※市民フォーラム